

国からの交付金

2.2億円を返還

熊谷市長肝煎りの「ひとつづくり応援カタログ」は…

大失敗

65%
売れ残り

阿部さとし

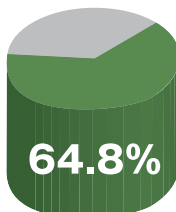
千葉市議会議員

政務活動レポート



約65%が売れ残り 2.2億円も返還

熊谷市長の肝煎りで実施された「ひとつづくり応援カタログ」でしたが、結果は大失敗。3分の2近くが売れ残り、交付金総額の3割以上返還という前代未聞の事態に。



「千葉市ひとつづくり応援カタログ」とはカタログに掲載された「習い事」などのサービスを4割引の価格で受けられる、というもの。市長は、「これを機に市内で『習い事祭り』が起きてくれるといい」と語っていた。昨年度の熊谷市政の目玉政策の一つである。



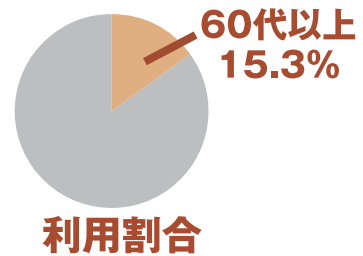
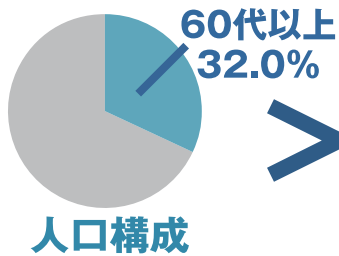
県内の交付金返還の 80%が千葉市

「応援カタログ」のような制度を実施したのは全国で千葉市だけ。県内の交付金返還額の80%を千葉市が占め、全国唯一の事業で全国有数の交付金返還となってしまいました。



高齢者の利便性考慮 せずか

コンビニ端末の操作が煩雑で、「使いたいと思ったがやり方がわからなかった」、という声も。市長はITに詳しいので問題無いと考えたのかもしれませんが、残念ながら市民目線が致命的に欠けていました。



ちなみに…

2.2億円あればできることは…

- ・不妊対策(2.1億円)
- ・一時預かり・休日保育の拡充(2.2億円)
- ・QVCマリンフィールド整備(2.1億円)
- ・放置自転車対策(1.1億円)

タウン
ミーティング

10月16日(日)14時半～

於:レンタルスタジオアドバンス(JR稲毛駅西口徒歩1分) ※事前申込不要

テーマ:稲毛駅東口再開発、千葉市の教育 お問い合わせは事務所まで!